

インターネットバンキングサービスにおける ウイルスメールについて

2020年9月度において、信用金庫名をかたった件名のウイルスメール（ウイルスと判定されたファイルが添付されたメール）が多く確認されました。

ウイルスメールは、巧妙かつバリエーションが豊富であり、添付されているファイルを誤って開いてしまうと、ウイルスに感染し情報を抜き取られる恐れがあります。

ついては、インターネットバンキングサービスを安全にご利用いただくため、以下をご参照のうえ、ウイルスメールにご注意いただくようお願いいたします。

電子メールを開く際の注意点

1. 送信元や件名を確認して、不審なメール（※）と判断したら開封せず削除してください。
2. 開封しても、本文中に不審な点がないか確認してください。
3. 本文中のURLをクリックしないでください。
4. 添付ファイルを開かないでください。開いてしまった場合、マクロの有効化を求められても応じないでください。

（※）不審なメールとは、「知らない人（メールアドレス）から送付されたメール」「心当たりのない意味不明なファイルが添付されているメール」「金融機関、企業等を装ったメール」「身に覚えのない請求メール（架空請求）」等があります。

ウイルスメールの特徴

1. 送信元

送信元は詐称されている場合があります。

- 英単語を組み合わせたメールアドレス
- ランダムの英数字を組み合わせたメールアドレス
- adminやinfoなどの代表アドレスを連想させるメールアドレス
- 名前を連想させるメールアドレス

2. 件名、本文

以下のような件名があります。

- 信用金庫からのお知らせを装った件名
- ワンタイムパスワードの利用開始やトークンの交換を装った件名
- 事故登録解除完了のお知らせを装った件名
- 資金移動操作完了を装った件名
- インターネットバンキングからのお知らせを装った件名
- 振込受付完了を装った件名
- 振込に関するお知らせを装った件名
- 電子証明書の更新完了、更新、再発行のお知らせを装った件名
- 合併に伴う振込先変更のお知らせを装った件名
- ホームページのリニューアルを装った件名

なお、本文には、添付されているパスワード付zipファイルを解凍するためのパスワードが記載されています。

3. 添付ファイル名

(1) ファイル名

- ランダム英数字と受信年月日を組み合わせたファイル名
- 作業計画を連想させるファイル名

(2) 形式

- パスワード付きzipファイル（解凍後はdocファイル）

以 上